

2021 年度 浜松医科大学精神医学講座 臨床心理研修生募集

募集要項

浜松医科大学精神医学講座では毎年、臨床心理研修生を受け入れています。当講座の研修(約2年)では、精神疾患についての幅広い知識を獲得し、各種心理検査の実施と解釈を身に付け、事例について見立てる力を養い、心理療法をいかに実施していくかについて、実践的に学ぶことが出来ます。

研修期間 約2年間(研修開始 2021年4月より)

募集人員 8名程度

応募資格

- ・公認心理師受験資格保持者(現任者を含む)であること。
- ・体力に自信があり、浜松市もしくはその近郊での非常勤勤務が可能であること。
- ・車での移動が可能であること。

応募締め切り 2020年11月30日(月)

出願手続き

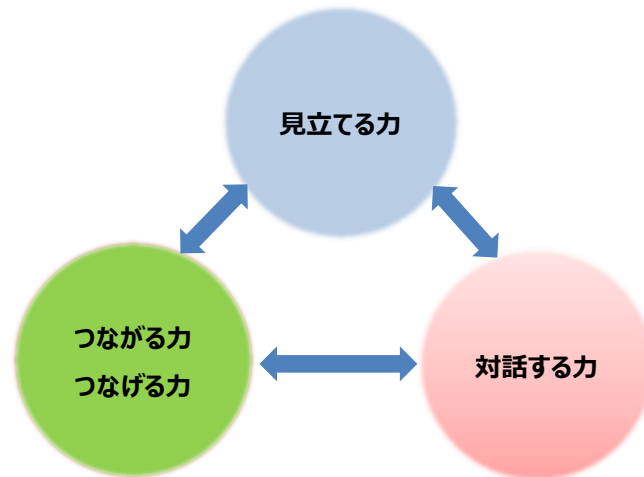
応募方法	下記メールアドレスに必要事項を記入の上、送信後、以下の書類を郵送して下さい。 hama_psy_pscho@yahoo.co.jp 〈必要事項〉 件名：臨床心理研修生応募申込 内容：①氏名(ふりがな)②所属先③連絡先(メールアドレスおよび携帯番号)
必要書類	1. 履歴書 2. 「浜松医科大学の研修に期待すること」と題して自筆400字以内の小論文
書類郵送先	〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1丁目20番1号 浜松医科大学精神医学講座 井上淳 宛

選考方法/日時 応募につき書類審査後、12月ごろに面接試験を実施する予定です。(covid-19感染流行の状況により、当院で実施するか、オンラインで実施するかについて、ご連絡いたします。)

合格者決定 面接後、書面またはメールにてお知らせします。

研修のコンセプト

精神医学講座臨床心理室では、心理臨床を実践していくにあたって、いかなる領域においても、下記のような 3 つの技能が求められると考えています。



見立てる力

当事者の方を援助するためには、その方がどのような状況に置かれており、どのような精神状態や特性があり、どのような援助の可能性があるのかについて見立てることが必要です。見立てを行うためには、精神医学や臨床心理学の知識を獲得し、実務の中で実際に知識を運用する力が必要となります。心理検査の施行、解釈ができることのみならず、対話のプロセスのなかで当事者を総合的に見立てていく能力が求められます。必要な知識は多岐に渡り、最新の情報に触れ、吸収していくことも必要です。

つながる力、つなげる力

援助者としての自分と当事者の方（とその家族）とがつながることができるよう、信頼関係を構築する力です。加えて、信頼関係に基づき、家族と当事者の関係性を扱うことや、必要な関係諸機関など、当事者が利用可能な資源に当事者をつなげていくことも必要となります。そのためには、どんな資源が地域に存在するのか、その資源の特性も含め、周知しておくことも重要です。また、多職種とつながりを持ち、協働しながら、援助していく姿勢を身につける必要があります。

対話する力

対話をするプロセスを通して、見立てを柔軟に修正しながら、当事者に見立てを伝え、問題の解消に向けて、面接プロセスを構成し、方向付けていく力です。一方的な指示に陥ることや、ただ受動的に話を聞くだけに留まってしまうずに、双方向の対話を重ねていくことで当事者やその家族を支援していく力が求められます。また、1 対 1 の個人面接のみならず、家族との同席面接や集団療法など多数の方と双方向的な対話を行う力も必要です。

上述のような技能を身に付けていくことは、一朝一夕になしうるものではありません。様々な経験の積み重ねと学びの中で徐々に養われていく力であると考えています。

当科の臨床心理研修生制度は、多様な経験を積む中で、こうした 3 つの技能を実践的に涵養できるよう、医療領域での実践を基礎に、教育、行政、福祉などの様々な関連諸機関と連携をし、研修生に実践の場を提供しています。また研修先には、心理研修生の先輩方がいる場合も多く、幅広い経験層の方々から成るネットワークがあるため、日常的に臨床上の困難について相談が可能です。「研修生」という名称を用いていますが、実際には当科を含む、多様な現場での職員となって実務を行いますので、相応の責任が伴いますが、現場での実践をサポートする体制が整っています。

研修 1 年目の到達目標

- ① 予診を通じて診断に必要な情報を正確に聴取出来る。
- ② ロールシャッハ・テスト、SCT、WAIS-IV、WISC-IV、PARS、MMPI、P-F スタディ、Y-G 性格検査など各種心理検査の実施、解釈が出来る。

研修 2 年目の到達目標

- ① 精神医学・臨床心理学についての基礎知識を獲得し、治療のための見立てが立てられる。
- ② うつ病、強迫性障害、パニック障害等の治療（認知行動療法、森田療法など）が出来る。
- ③ 後輩心理士の予診、心理検査の指導が出来る。

浜松医科大学医学部附属病院精神科での研修

- 8 : 15 病棟ナースカンファレンスに参加
- 8 : 30 病棟全体カンファレンスに参加
- 9 : 00 病棟診療グループのカンファレンスに参加
- 9 : 30 初診の患者の予診（現病歴、生活歴、家族歴等の聴取）
予診について先輩心理士による SV
- 10 : 30 外来・病棟の心理検査（ロールシャッハ・テスト、WAIS-IV、WISC-IV など）
- 12 : 00 昼食
- 13 : 00 外来・病棟の心理検査、カウンセリング
心理検査（Y-G、P-F スタディ、MMPI、SCT 等）の解釈
- 18 : 00 心理検査についてグループ SV
心理療法についての個人 SV（適宜職員の心理士が実施）

浜松医大の研修で定期的に実施している講座

- 職員、研修生合同での事例検討会（毎月 1 回）
- 認知行動療法実践研修会（毎月 1 回）

浜松医大の研修で不定期で実施している講座

- ロールシャッハ・テストの実施とスコアリング
- ロールシャッハ・テスト事例検討会
- WAIS-IV、WISC-IV等の陪席
- 症状評価尺度（うつ病、統合失調症、強迫性障害）の実施方法
- バウムテストについて
- 不安障害への森田療法
- 物質関連障害の治療
- 人格障害の治療
- 解離と自傷行為への対応
- ト라우マ治療の実際
- 強迫性障害の治療
- 集団精神療法の実際
- スクールカウンセラーの仕事

研修スケジュールの一例

月	浜松医大での研修（教授回診・精神医学講座勉強会）
火	関連病院勤務
水	浜松医大での研修
木	浜松医大での研修
金	関連病院勤務
土	関連病院勤務
日	休日（※研究、学会の手伝い等が入ることがあります）

※外勤先および浜松医科大学にて日給で給与が支払われ、1 年目は週 4 程度、2 年目は週 5 程度の給与になります。1 年目の 1 ヶ月の収入は 16 万前後です。

※外勤先での心理検査の解釈、所見の書き方についても浜松医大の心理士の先輩が指導をします。

※その他、外勤先で困っていることなど適宜、相談できる体制が整っています。

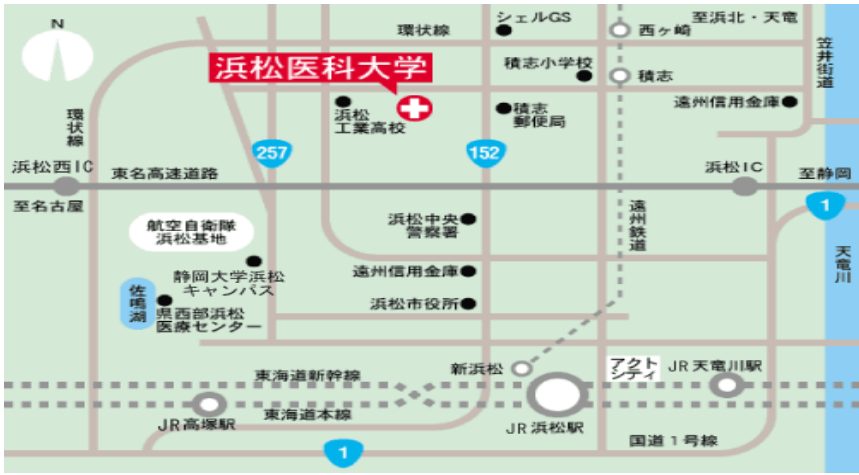
研修生の進路

研修期間は目安として2年間としておりますが、そのまま、当講座や関連病院や関連諸機関等に在籍をする方々も多くいます。一方で、研修生は全国各地から集まっているため、2年の研修を修了後に、地元に戻るなどの選択をされる方もいますが、研修終了後も情報交換を行ったり、当科で主催する研修会に参加されるなど、多くの方が2年間で培われた関係を維持されています。いずれにしても、長期的な観点に立ち、多様な経験の中から、自身の臨床観を徐々に構築し、自分なりの臨床のスタイルや生活スタイルを築き上げていくことを重要視し、将来的なキャリアアップを支援していきたいと考えています。

常勤	浜松医科大学医学部附属病院／浜松医科大学子どものこころの発達研究センター／朝山病院／葉月クリニック／藤枝駿府病院／沼津ふれあいホスピタル／沼津中央病院／聖明病院／共立湖西病院／遠江病院／磐田市民病院／小笠病院／浜松市発達医療福祉センター／天竜病院／子どものこころの診療所／やきつべの径診療所／こひつじ診療所／グリーンメンタルクリニック／川口会病院／焼津病院／磐田市発達支援センターはあと／静岡県立こころの医療センター／静岡県立こども病院／浜松市発達相談支援センター ルピロ／静岡県職員／静岡市職員／浜松市職員／他県公務員心理職、他県大学病院職員 など
非常勤	浜松医科大学保健管理センター／静岡県立こころの医療センター／城北公園クリニック／朝山病院／メンタルクリニック・ダダ／ダダ第二クリニック／浜松医療センター／天竜病院／浜松労災病院／子どものこころの診療所／神経科浜松病院／三方原病院／葉月クリニック／たまゆらメモリークリニック／小池神経科／遠江病院／磐田原病院／菊川市立総合病院／川口会病院／富士市立総合病院／三島森田病院／絃仁病院／磐田市民病院／磐田市保健所／西部児童相談所／浜北保健センター／浜松市スクールカウンセラー／静岡市スクールカウンセラー／静岡県スクールカウンセラー／静岡大学附属中学スクールカウンセラー／聖隷クリストファー高校スクールカウンセラー／浜松市立看護専門学校 非常勤講師／常葉大学 非常勤講師／静岡医療科学専門学校 非常勤講師 など

アクセス

MAP



バスをご利用の方・・・浜松駅バス乗り場

バス乗り場	路線番号	路線名称等	所要時間	料金
13 番ポール	50	山の手医大線	約 40 分	460 円

↑

